

平成27年 3月25日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 A L B E R T
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 上 村 崇
(コード番号：3906 東証マザーズ)
問 合 せ 先 執 行 役 員 最 高 財 務 責 任 者 木 野 英 明
(TEL. 03-5909-7510)

エヴィクサー株式会社との業務・資本提携に関するお知らせ

当社は、平成27年3月25日開催の取締役会において、以下のとおりACR（自動コンテンツ認識）技術を活用した各種ソリューションを提供するエヴィクサー株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：瀧川淳、以下、「エヴィクサー」といいます。）との間で、業務・資本提携契約の締結を行うことについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 資本業務提携の理由

本提携は、ビッグデータ活用分野での包括的提携を行なうことを基本方針とし、オフラインコンテンツとモバイルデバイスのデータを掛け合せて分析・活用する機運が高まりつつある今、この領域における要素技術を持つ両社でいち早く強い提携関係を築くことによりビジネスチャンスを獲得することを目的としております。当社はエヴィクサーと、積極的に海外展開を目指すアジアのネットベンチャー企業同士が、国境を越えて相互に支援しあうことを目的として当社が創設した「オールアジア・ネットベンチャー・コミュニティ」及び共催イベント（平成23年3月開催）を通じ面識を持ち、本件を検討するに至りました。

(参考URL http://www.albert2005.co.jp/release/archives/201101/20_110000.html)

本提携を通じ、テレビやラジオの放送データ及び、映画、デジタルサイネージなどのオフラインコンテンツと、スマートフォンを中心とするモバイルデバイスの接触データを統合するエヴィクサーの技術と、当社のプライベートDMP構築を請負う統合的サービス「smarticA!DMP」を連携し、企業と消費者のオムニチャンネル（※）コミュニケーションの最適化を実現して参ります。業務提携の詳細は、2. 業務提携の内容 をご参照ください。

両社は、双方の強み・ノウハウを共有し、提携シナジーを追求すべく、業務提携をより確固たるものにするため、資本提携とALBERTからエヴィクサーへの取締役派遣を同時に行なうものであります。

※ 「オムニチャンネル」とは、オンラインストアや実店舗のほかあらゆる販売チャネルや流通チャネルを統合すること。またその統合販売チャネルの構築により、どの販売チャネルからも同じように商品を購入できる環境を実現すること。

2. 業務提携の内容

当社が展開するオムニチャネル対応の最先端DMP「smarticA!DMP」は、企業内に蓄積される大量データを統合して蓄積し、自動的にデータマイニングをした上で、キャンペーンマネジメントを通じてチャネル横断のコミュニケーションを最適化することが出来ます。

一方、エヴィクサーが提供するACR（自動コンテンツ認識）技術は、テレビ、ラジオ、紙媒体、アウトオブホーム・メディア（交通／屋外など）、店頭で展開される広告物やコンテンツから発せられた音／画像を、スマートフォンのカメラおよびマイクを通じて取得し、その内容を自動的に分析することでリアルタイムに様々な連動アクションを起こすことが出来ます。従来は連携が困難であった放送データ及び、店舗やイベント会場などのオフラインの接触行動と、スマートフォンなどのモバイルデバイス上のオンラインの接触行動をユーザ単位で把握し、プッシュでメッセージを送って双方向のコミュニケーションをとるといったことが可能になります。

【エヴィクサーのACR技術】

「Fingerprint（特微量）」と「Watermark（透かし）」という二種類の技術を応用



本提携により、当社とエヴィクサーは戦略的パートナーとして、オンラインとオフラインの「ビッグデータ活用」に関する下記の各分野において連携し、複雑化する消費者行動の精緻な把握と分析を行うことで、あらゆる顧客接点におけるコミュニケーションの最適化を実現してまいります。

- ・020※・オムニチャネルなどコミュニケーション最適化
- ・従来は把握しきれていない放送及びオフラインコンテンツ接触後の消費者行動分析
- ・汎用性の高いACR（自動コンテンツ認識）技術のプラットフォーム拡大、IoT（モノのインターネット）やMtOMビジネスへの応用



※ 「02020」とは、オフライン（またはオンエアー）・ツアー・オンライン・ツアー・オフラインの略称です。特にテレビ放送との連係においてはT2020（テレビ・ツアー・オンライン・ツアー・オフライン）と呼ぶ場合もあります。放送やデジタルサイネージなど、オフラインにおけるコミュニケーションから消費者を一旦ウェブサイトやスマートフォンアプリなどのオンラインに誘導して動機付けをした上で、更に店舗やイベントなどのオフラインに誘導する施策やコミュニケーションの方法を表した言葉です。

3. 資本提携の内容（新たに取得する相手方の株式または持分の取得価額）

エヴィクサーは、第三者割当により当社を割当先として普通株式25株を発行し、当社は当該株式を引き受ける予定です。本件実施後の当社の所有議決権割合6.0%となる予定です。

取得前後および割当前後の状況

- i) 異動前の所有株式数 0 株（所有割合 0%）
（議決権の数 0 個）
- ii) 取得株式数 25 株（取得価額 5,000 万円）
（議決権の数 25 個）
- iii) 異動後の所有株式数 25 株（所有議決権割合 6.0%）
（議決権の数 25 個）

※株式取得価額につきましては、社内で株式価値算定書を作成し、その内容を参考に取得価額を基にエヴィクサーとの協議で決定したものであります。

4. 業務・資本提携の相手先の概要

(1) 名称	エヴィクサー株式会社 (2015年3月25日、日本エヴィクサー株式会社より商号変更)							
(2) 所在地	東京都中央区新川一丁目17番22号							
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 瀧川 淳							
(4) 事業内容	音・画像の信号処理に基づくソフトウェア（ACR技術）の研究開発 リモートコントロールを主とするネットワーク製品、サービスの研究開発および販売 IP-PBXソリューションおよびSIPソフトフォンの研究開発 アプリケーションサービスプロバイダ業務 システム構築、企画、運用代行業務 受託開発、共同研究業務（特に芸術工学分野） コアテクノロジー、要素技術のOEM供給 コンピュータ周辺機器の開発、販売および関連サービスの提供 上記に付随する各種コンサルティング業務							
(5) 資本金	90百万円							
(6) 設立年月日	2004年3月12日							
(7) 大株主及び持株比率	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">瀧川淳</td> <td style="text-align: right;">63.0%</td> </tr> <tr> <td>山科誠</td> <td style="text-align: right;">10.5%</td> </tr> <tr> <td>その他7名</td> <td style="text-align: right;">26.5%</td> </tr> </table>		瀧川淳	63.0%	山科誠	10.5%	その他7名	26.5%
瀧川淳	63.0%							
山科誠	10.5%							
その他7名	26.5%							
(8) 上場会社と当該会社との関係	資本関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者と当該会社の関係者および関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。						
	人的関係	当社と当該会社は、上記の業務提携をよりスピーディーかつ効果的に実現していくことを目的として、当該会社の株主総会で承認が得られることを条件として、当社の指名する者1名を当該会社の取締役（非常勤）として選任することを合意しております。						

	取引関係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。また、当社の関係者と当該会社の関係者および関係会社の間には、特筆すべき取引関係はありません。		
	関連当事者への該当状況	当該会社は、当社の関連当事者には該当しません。また、当該会社の関係者および関係会社は、当社の関連当事者には該当しません。		
(9) 最近3年間の経営成績及び財政状態 (単位：百万円)				
		平成24年12月期	平成25年12月期	平成26年12月期
純資産		91	93	98
総資産		227	205	357
1株当たり純資産		245,403.48円	205,557.65円	263,055.31円
売上高		178	266	305
営業利益		1	22	16
経常利益		0	23	15
当期純利益		0	1	4
1株当たり当期純利益		0円	5,138.13円	12,497.66円
1株当たり配当金		—	—	—

5. 日程

取締役会決議	: 平成27年3月25日
業務・資本提携契約締結	: 平成27年3月25日
払込期日	: 平成27年3月31日
事業開始日	: 平成27年4月1日

6. 今後の見通し

今回の業務・資本提携契約締結による現時点での業績への影響は軽微であり、平成27年2月19日開示の「平成26年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の平成27年12月期の業績予想に含めております。なお、本業務・資本提携は、当社およびエヴィクサー両社にとって、将来にわたり企業価値の向上に資するものと考えております。

(参考) 当期業績予想 (平成27年2月19日公表分) 及び前期実績 (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
当期業績予想 (平成27年12月期)	1,054	194	180	109
前期実績 (平成26年12月期)	918	166	161	167

以上